

農福連携事例

【組織名】 社会福祉法人ナザレ園

養護老人ホームナザレ園

＜栽培品目＞

しいたけ（菌床）、水稻、
とうがらし他

＜取組内容＞

- ・農福連携事業によるシニアや障害者の活躍と地産地消の推進。
- ・施設が所有していた未利用の農業用ハウスを活用したシイタケの菌床栽培に新たに取り組み、収穫したシイタケ（年間約300kg）は地元の食品スーパーで販売。
- ・シイタケ以外にも、水稻、とうがらし、じゃがいも、さつまいもを栽培



項目	具体的な内容
始めた時期	令和3年8月
始めたきっかけ	農福連携事業への参入希望があり、取引銀行の職員（農業経営アドバイザーの有資格者、農林水産省農福連携支援研修の受講者）からの事業内容の検討・提案を受けながら事業に着手しました。
良かったこと	遊休施設の活用によって初期投資を抑制しつつ、高齢者でも作業可能な品目としてシイタケ栽培の新規参入が実現できた。入居者の心身の健康維持の効果や活動機会の確保に加えて、自分たちが栽培したものが地元で販売されることによる生きがいの場の創出や、地元スーパーでの販売を通じた地産地消の拡大に貢献できること。
農福連携を広げる うえでの課題	将来は乾燥シイタケを作りブランド化していくための学びと乾燥機設備や作業所の設置のための資金の確保。及び養護老人ホーム、就労支援事業所や通所事業所サロンの利用者や地域ボランティアを募り農福連携をデザインしていく。
工夫や気をつけて いること	入居者の残存機能を生かし、携わること生きがいとその人らしさを見い出す居場所作り。作業の役割分担、（栽培、袋詰め、納品）体調に合わせた作業の時間配分等心掛けている。
今後の取組	シイタケ栽培以外にも、水稻やとうがらし他を栽培しているので、色々な品目を模索しながら、障がい者のモチベーション向上に繋がる作業を増やしていきたい。



【住所・電話番号】

社会福祉法人ナザレ園

〒319-2103

茨城県那珂市中里361-2

Tel:029-296-0316

農福連携事例

【組織名】 社会福祉法人ナザレ園

養護老人ホームナザレ園

＜栽培品目＞

しいたけ（菌床）、水稻、
とうがらし他

＜取組の様子＞



椎茸の適度な温度・湿度管理、
銀杏拾いから乾燥袋詰め、薪割など
余暇を利用し作業、2022年度から
スーパーに卸すことが出来ました。



【住所・電話番号】

社会福祉法人ナザレ園

〒319-2103

茨城県那珂市中里361-2

Tel: 029-296-0316